

グリーン購入

製品やサービスを購入する時に、デザインや価格、品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入することを“グリーン購入”と言います。

環境ラベル認定製品の購入

(主な環境ラベル)

環境を守るのに役立つと認定された製品に付けられるマーク。文具類、用紙類、プラスチック製品から衣服、機器類まで幅広い製品を対象としています。

エコマーク



グリーンマーク

環境

デザイン

価格

品質

原料に古紙を利用している製品に付けられるマーク。トイレトーパー、コピー用紙、ノートなどの紙製品を対象としています。

統一省エネラベル

省エネ法に基づき、小売事業者が製品の省エネ性能を表したラベル。エアコン、テレビ、電気冷蔵庫の3品目を対象としています。



国際エネルギースターロゴマーク

稼働時、スリープ、オフ時の消費電力に関する基準を満たすOA機器に付けられるマーク。パソコン、プリンタ、複写機などを対象としています。

グリーン購入に関する情報

- ・グリーン購入ネットワーク(GPN) <http://www.gpn.jp/>
グリーン購入の取り組みを進める全国ネットワーク
- ・グリーンステーション <http://www.greenstation.net/>
エコマーク商品の総合情報サイト

はこだて エコライフのすすめ

事業者編



●環境サミット2008in函館 キャンドルメッセージのようす

市では、平成20年6月27日、28日に環境サミット2008in函館を開催しました。前夜祭として実施したキャンドルメッセージでは、市民から公募した“eco365”というメッセージを約1,800本の廃油ろうそくで浮かび上げられ、地球温暖化防止への思いを発信しました。

※電気や燃料、水道の使用量から、1ヵ月間のCO₂排出量を簡単に調べてみましょう。また、CO₂排出量と金額を前の月や前年同月と比較して省エネの効果を確認してみましょう。

環境経理簿

	___月			___月		
	使用量	CO ₂ 排出量	金額	使用量	CO ₂ 排出量	金額
電気	×0.41= kWh	kg	円	×0.41= kWh	kg	円
都市ガス	×2.33= m ³	kg	円	×2.33= m ³	kg	円
LPGガス	×6.45= m ³	kg	円	×6.45= m ³	kg	円
水道	×0.36= m ³	kg	円	×0.36= m ³	kg	円
灯油	×2.49= ℓ	kg	円	×2.49= ℓ	kg	円
ガソリン	×2.32= ℓ	kg	円	×2.32= ℓ	kg	円
合計		a kg	A 円		b kg	B 円
比較	CO ₂ 排出量の増減		b - a =	節約額		A - B =
			kg			円

●はじめに・・・温暖化防止を目指して

地球温暖化にともなう気温の上昇によって、災害の増加、農作物の減収、動植物の絶滅など、さまざまな影響が心配されています。地球温暖化の最大の原因は、産業革命以降の、石油や石炭などの化石燃料の大量消費による二酸化炭素(CO₂)の増大です。

世界の平均気温は過去100年間で0.74℃上昇しており、近年は上昇傾向が加速しています。このまま温暖化が進むと、最悪の場合、2100年には世界の平均気温は6.4℃上昇すると予測されています。

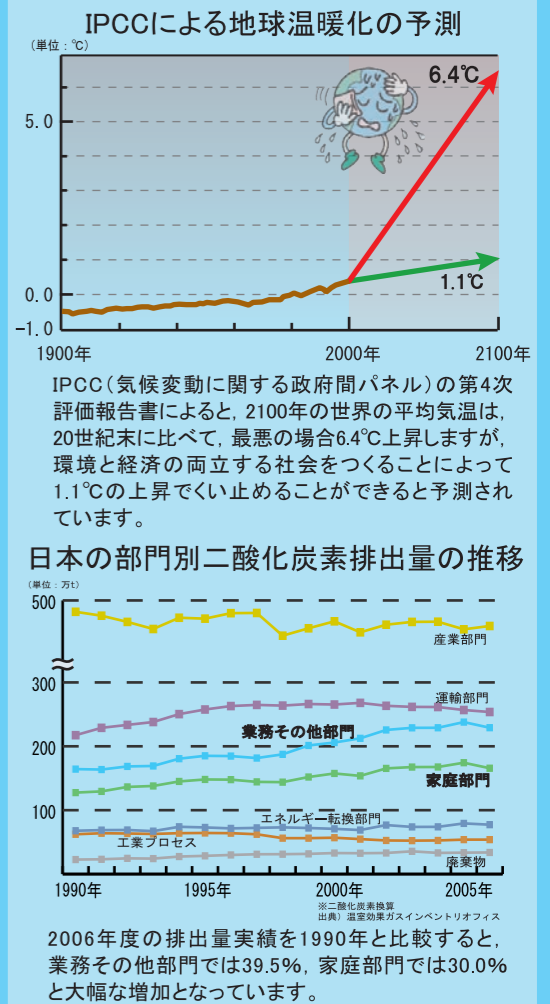
日本は京都議定書において、2008年から2012年の間に温室効果ガスを1990年比で6%削減する義務を負っていますが、2006年度の実績は6.2%の増加となっています。特に、オフィスビルなどの業務その他部門や、家庭部門からの排出量は大きく増加しています。

このリーフレットは、事業者向けの温暖化防止の手引きとして、オフィスなどでの温暖化防止につながる取り組みを中心に掲載しています。

温暖化を防止するため、私たちはできることから取り組まなければなりません。

小さなことでも、みんなで実行すれば必ず地球を守るために役立つはずで

温暖化防止へ向け、できることから取り組みましょう。



オフィスの省エネ

オフィスから排出されるCO₂は、一般に電気や、暖房などに使われる燃料からの排出が多くを占めています。オフィスの省エネを徹底してCO₂の排出を抑えましょう。

照明器具

点灯時間を短くする

点灯時間を1日1時間短縮した場合(1灯あたり)

- ・白熱電球(54W)の場合
約430円の節約, 8.1kgのCO₂削減
- ・蛍光灯(12W)の場合
約100円の節約, 1.8kgのCO₂削減

白熱電球を電球形蛍光灯に交換する

54Wの白熱電球から12Wの電球形蛍光灯に交換した場合

約1,850円の節約, 34.4kgのCO₂削減

電気ポット

保温をやめる

1日8時間の保温をやめた場合

約1,930円の節約, 35.9kgのCO₂削減

待機電力

待機電力を削減する

テレビやOA機器など機能上支障のない機器をコンセントから抜いた場合

約3,390円の節約, 63.1kgのCO₂削減

※それぞれの取り組みを実践することによって、1年間で節約できるおおよその金額と、削減できる二酸化炭素(CO₂)の量を表示しています。また、節約の効果の大きさを葉の大きさで表現しています。

パソコン

使わない時は電源を切る

1日1時間利用時間を短縮した場合

- ・デスクトップ型の場合
約690円の節約, 12.9kgのCO₂削減
- ・ノート型の場合
約120円の節約, 2.2kgのCO₂削減

電源オプションを見直す

電源オプションを「システムスタンバイ」にした場合(週3.25時間の使用)

- ・デスクトップ型の場合
約280円の節約, 5.2kgのCO₂削減
- ・ノート型の場合
約30円の節約, 0.6kgのCO₂削減

暖房便座

使わない時はフタをする

開けっぱなしにした場合との比較

約770円の節約, 14.3kgのCO₂削減

便座の暖房温度は低めにする

設定温度を一段階(中→弱)下げた場合

約580円の節約, 10.8kgのCO₂削減

省エネオフィスを目指して

できることから...

- **クールビズ, ウォームビズ** **COOLBIZ**
~冷房の設定温度は28℃に,
暖房の設定温度は20℃に~ **WARMBIZ**
衣服を工夫することによって、冷暖房に頼らなくても体感温度を維持することができます。
- **エレベーターのかわりに階段を利用**
近くの階はエレベーターの使用を控え、階段を利用するようにしましょう。
- **ノー残業デー, ノーマイカーデー**
環境のためにこうした日を設けて取り組むことによって、エネルギー消費を削減できます。



さらに進んで...

- ・太陽光発電や風力発電など自然エネルギーの活用
- ・省エネルギー設備の導入(ESCO事業やBEMSなど)
※参考
(財)省エネルギーセンター <http://www.eccj.or.jp/>
- ・屋上緑化や壁面緑化
- ・ISO14001, EA21などの環境管理システムの導入

みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

エコドライブ

自動車の燃料からのCO₂排出を抑えるため、「エコドライブ」を心がけ、通勤方法についても考えてみましょう。また、低公害車は、排気ガス中の有害物質だけでなくCO₂の排出も少なくなります。

エコドライブのポイント

ふんわりアクセル(※)

発進時, 5秒間で20km/h程度に加速した場合

約8,940円の節約, 194.0kgのCO₂削減

加減速の少ない運転(※)

約3,130円の節約, 68.0kgのCO₂削減

早めのアクセルオフ(※)

約1,940円の節約, 42.0kgのCO₂削減

アイドリングストップ

30mごとに4分間の割合でアイドリングストップを行う場合

約1,850円の節約, 40.2kgのCO₂削減

(※)スマートドライブコンテスト(省エネルギーセンターが実施)の操作別燃料消費削減割合による。

通勤方法も考えましょう

週2日往復8kmの車の運転をやめる

※燃費11.6km/Lと仮定

約7,380円の節約, 160.1kgのCO₂削減

路面電車やバスは、一度に多くの人を運ぶことができる、環境にやさしい交通手段です。車を利用しない日を決めるなどして、公共交通機関や自転車、徒歩での通勤を考えてみましょう。

他にも...

- ・エアコンの使用を控えめに
- ・暖機運転は適切に
- ・道路交通情報の活用
- ・タイヤの空気圧はこまめにチェック
- ・不要な荷物は積まずに走行
- ・駐車場所に注意し、渋滞の原因を作らない

低公害車の導入

ハイブリッド車や、低燃費かつ低排出ガス認定車など、低公害車への切り替えを進めましょう。自動車税と自動車取得税の優遇措置も用意されています。



※詳しくは、国土交通省のホームページ「自動車グリーン税制について」をご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/green/green_18.htm

省資源, 廃棄物の減量

廃棄物の減量とリサイクルの推進

- ・包装の少ない物品を購入する
- ・コピー用紙やトイレットペーパーなどは再生品を購入する
- ・使い捨て製品(紙コップ, 使い捨て容器入りの弁当など)の購入・使用を抑制する
- ・リターナブル(再利用可能な)容器の物品を購入する
- ・使用済みの封筒, 紙, ファイルなどの再使用に努める
- ・新聞, 雑誌, ダンボールなどは資源回収業者に引き渡す

RECYCLE

紙使用量の削減

- ・両面印刷・両面コピーに努める
- ・ミスコピー, ミスプリントの防止に努める
- ・会議資料は必要最低限にとどめる
- ・電子メールなどを活用しペーパーレス化をはかる

節水

- ・水道を流しっぱなしにしない
- ・蛇口に節水コマを取り付ける
- ・水洗トイレは適切な流量にする
- ・雨水をためる施設を設置し, 雨水を利用する

